

研究通信

1973年9月刊
研究会局
研究会事務 ◇
大学院附属研究所
明治大学社会学部附設研究所
村落社会研究会

郷まで一五分。ホテル合歓前で下車、徒歩にてホステル合歓またはミーティング・クキャンプ本部棟まで。ハイヤーならば鶴方からホテル合歓まで五〇〇円程度。バスは鶴方発の最終が一七時三三分です。なお、マイカーまたはハイヤーで御来場の場合は、入郷のゲートのところで係の者に「ホステル合歓宿泊」と告げて下されば入郷料を払う必要はありません。

宿泊費・参加費

一泊二食二、五〇〇円、昼食三〇〇円程度。懇親会費は七〇〇円程度、また参加費五〇〇円です。なお、大会期日がヤマハ音楽教室の研修会と重なってしまいまして多少の混雑が予想されます。悪しからず御了承下さい。

特集号

- 期日 昭和四十八年一〇月三〇日(火)・三一日(水)
○会場 三重県志摩郡浜島町大崎半島
「合歓の郷」(電話〇五九九四一三一一五一五)

- 研究会場 ホステル合歓ミニージ・クキャンプ
- 本部棟内第一研修室
- 宿泊所 ホステル合歓
- 共通課題 現段階における都市と農村の対立の諸形態

大会会場案内

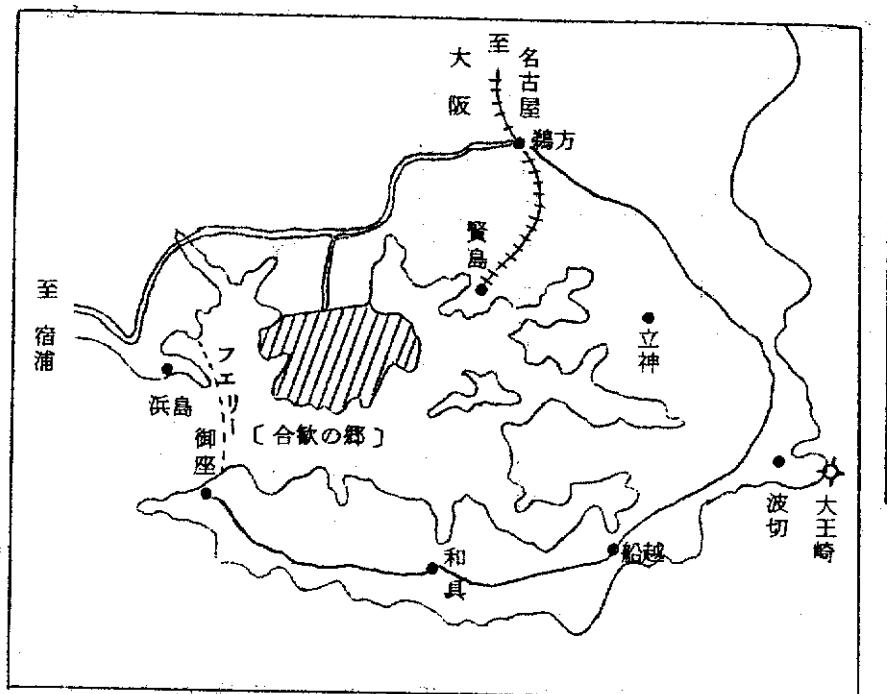
会場への道順

近鉄鳥羽志摩線鶴方駅下車。(名古屋から特急で鶴方まで二時間十五分、大阪から特急で二時間四〇分)。
鶴方にて近鉄特急接続のバス(合歓の郷行)に乗りかえて合歓の

豊橋市町畠町 愛知大学文学部社会学研究室

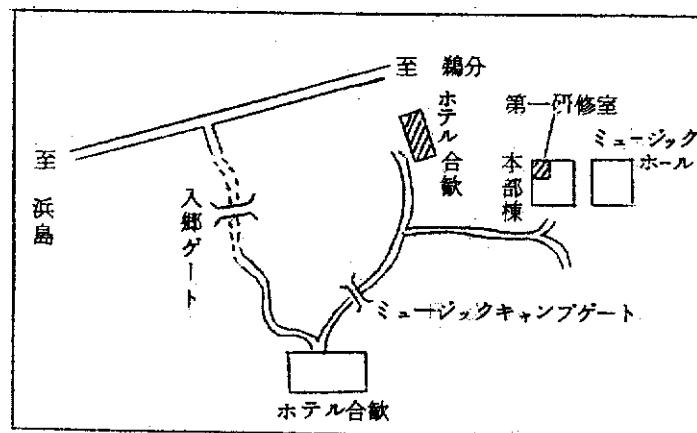
(電話) 大学〇五三二一四五一〇四四一
牧野由朗
自宅〇五三二一五一二八五五

図 I 志摩地方



会場への略図

図 II 会場案内図



お
わ
び

さきに通信八七号で御案内しました「大会についてのおしらせ」の若干について訂正させて頂きたいことがあります。事務局の不手際で大変申訳ありませんが何分よろしく。

○八七号では懇親会費五〇〇円といたしましたが諸事値上のために、七〇〇円程度になります。お許し下さい。

○大会参加申込みと同時に予約金一五〇〇円を頂戴するようにお願いいたしましたが、種々事情を考慮の上予約金徴収をとりやめ、御申込みの上参加不可能になつた方には大会後違約金を納めて頂くようにならざります。大変失礼なことで事務局として胸を痛めますが宜しく御理解の上、御協力をお願い申上げます。